日本工学院専門学校開講年度			2020年度		科目名	ゲームプ	ゲームプログラミング応用実習1		
科目基礎情	情報		ı	ı		1	1		
開設学科	グロムクリエイター科四年制			コース名	ゲームプロ	ムプログラマーコース		開設期	前期
対象年次	4年次		科目区分	必修			時間数	60時間	
単位数	2単位						授業形態	実習	
教科書/教材	オ毎回レジュ	メ・資料を	配布する。	参考書・参	* 考資料等は	、授業中に指え	示する。	•	•
担当教員情	青報								
担当教員	澤口 奨吾					実務経験の有	無・職種	有・エンシ	シニア
学習目的	•					•			
到達目標 	内容を理解し、ML	Agentsの環境	竟を作ることがて	ごきるようになり	リ、強化学習の抗	支術習得を目標とす	る。		
	·····································								
—————————————————————————————————————		「Unityではじ	める機械学習・弱	強化学習 の流	れを基本とし、	要所で小課題の制作	作を行い、理解	度を見る。期末	こは研究課題に取り組む。
授業概要	:								
授業概要									
					は厳しく対応する	る。遅刻・欠席の際	は担任および持	受業担当者を含め	連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
	キャリア形成の				は厳しく対応する	る。遅刻・欠席の際	は担任および持 備 考	受業担当者を含め	連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
	キャリア形成の席しない者は定動	期試験を受験す 割合		: U\.		る。遅刻・欠席の際		受業担当者を含め	連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意点 評 価	キャリア形成の 席しない者は定数 種別 試験・課題 小テスト	期試験を受験す 割合 50% 25%	試験と課題授業内容の	い。 夏を総合的に 理解度を確	:評価する :認するため	に実施する	備考	受業担当者を含め	連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意点 評 万	キャリア形成の 席しない者は定り 種別 試験・課題	期試験を受験す 割合 50% 25%	試験と課題授業内容の	い。 夏を総合的に 理解度を確	:評価する :認するため		備考	受業担当者を含め	連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意点 評	キャリア形成の 席しない者は定数 種別 試験・課題 小テスト	期試験を受験す 割合 50% 25%	試験と課題授業内容の	い。 夏を総合的に 理解度を確	:評価する :認するため	に実施する	備考	受業担当者を含め	連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意 点 評価方法	キャリア形成の 席しない者は定数 種別 試験・課題 小テスト 平常点	期試験を受験す 割合 50% 25%	試験と課題授業内容の	い。 夏を総合的に 理解度を確	:評価する :認するため	に実施する	備考	受業担当者を含め	連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意点評価方法計	キャリア形成の 席しない者は定数 種別 試験・課題 小テスト	割合 割合 50% 25% 25%	試験と課題授業内容の	い。 夏を総合的に 理解度を確	:評価する :認するため	に実施する	備 考		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意点 評 価方法 對	キャリア形成の 席しない者は定数 種別 試験・課題 小テスト 平常点 (1回~12回)	期試験を受験す 割合 50% 25% 25% 授業内容	試験と課題授業内容の積極的な授	を総合的に理解度を確業参加度、	評価する 認するため 授業態度に	に実施するよって評価す	備 考 る 各回の3	受業担当者を含め	連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意点 評価方法 計 1 回	キャリア形成の 席しない者は定数 種別 試験・課題 小テスト 平常点 (1回~12回)	割合 割合 50% 25% 25% 授業内容	武験と課題授業内容の積極的な授	を総合的に理解度を確業参加度、機械学習の	評価する 認するため 授業態度に 基礎知識の理	に実施するよって評価す	備 考 る 各回の3		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意点 評 価方法 計 回 1回 2回	キャリア形成の 席しない者は定 種別 試験・課題 小テスト 平常点 (1回~12回) 機械学習の理	割合 50% 25% 25% 投業内容 理解、環境構築	武験と課題授業内容の積極的な授	を総合的に 理解度を確 業参加度、 機械学習の 学習環境に	三評価する 三認するため 授業態度に 基礎知識の理 必要な構成要	に実施する よって評価す 理解と、開発環境	備 考 る 各回の3		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意点 評価方法 計 回 1回 2回 3回	#ャリア形成の 席しない者は定記 種別 試験・課題 小テスト 平常点 (1回~12回) 機械学習の理 強化学習の学 強化学習入門	割合 50% 25% 25% 投業内容 理解、環境構築 で習環境構築	武験と課題授業内容の積極的な授	で総合的に 理解度を確 業参加度、 機械学習の 学習環境に 様々な報酬	三評価する 三認するため 授業態度に 基礎知識の理 必要な構成要 の与え方を理	に実施する よって評価す 理解と、開発環境 要素を理解する 理解する	備 考 る 各回の3		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意点 評価方法 計 回 1 回 回 3 回 4 回	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	割合 50% 25% 25% 25% 25% 世解、環境構築 で習環境構築	武験と課題授業内容の積極的な授	き総合的に 理解度を確 業参加度、 機械学習の 学習環境に 様々な報酬 画像情報を	三評価する 三認するため 授業態度に 基礎知識の理 必要な構成要 の与え方を理 利用した学習	に実施する よって評価す 理解と、開発環境 要素を理解する 理解する 習を理解する	備 考 る 各回の3		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注意 評価方法 評価方法 計 回 2 回 3 回 4 5	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	割合 50% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 25	武験と課題授業内容の積極的な授	で総合的に 理解度を 業参加度、 機械学習の 学でででである。 機械学習の 様々な報酬 画像情報を 敵対を利用	三評価する 一記するため 授業態度に 基礎知識の理 必 与えた学習 した学習を理	に実施する よって評価す	備 考 る 各回の3		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注 評価方法 詳 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	割合 50% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 25	武験と課題授業内容の積極的な授	で総合的に 建業参加度 機械 環境 で 様々 な 情報 を が で 差を かん こう いん こ	三評価する 一部であるため 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では	に実施する よって評価す	備 考 る 各回の3 竟の構築		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注 授 回 1 2 3 4 5 6 7	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	割合 50% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 13 13 14 15	武験と課題授業内容の積極的な授	を総解を対する。とは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	評価する 認受 選	に実施する よって評価す 理解と、開発環境 要素を理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 関を理解する	備 考 る 各回の3 竟の構築		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注 評価方法 計 1 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	割合 50% 25% 25% 25% 25% 25% 25% 10 13 13 14 15 16	武験と課題授業内容の積極的な授	を総解を 一機 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	評価する 一部 できる から できまれる 大き できまる から できまれる ままま から の 成 ままれる たい という はい できまる できまる できまる から はい	に実施する E E E E E E E E E E E E E	備 考 る 各回の3 竟の構築		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
注授回1第個方法計10回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	# ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	割合 50% 25% 25% 25% 投業内容 提解、環境構築 10 13 14 15 16 16	武験と課題授業内容の積極的な授	を総解を 一機械習 な 情 を 交 イ 節 学 様 像 が イ レ ブ 多 模 グ イ を 習 を 関 で で の 利 を で の 利 を で の 利 を で か の 利 を で か の 利 を で か か か か か か か か か か か か か か か か か か	評価する 一部では 一がで 一がで 一がで 一がで 一がで 一がで 一がで 一がで	によって 理解する 要素する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する 理解する ででである でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できる。	備 考 る 各回の3 意の構築		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上
価方法 授業計画 1 回 2 回 3 回 4 回 5 回 6 回	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	割合 50% 25% 25% 25% 投業内容 提解、環境構築 引① 引② 引③ 引③ 引⑤ 引⑥ 引⑥	武験と課題授業内容の積極的な授	www. を総解を 一様 を解する 一様 ででである。 一様 でである。 ででなる。 でである。 ででなる。 でである。 でである。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなな。 ででなる。 ででなな。 ででななでななでなでななでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでな	正評ででは、 評価するでででである。 ではていまでである。 をできまれるでは、できまれるでは、できまれるでは、では、できまれるでは、できまれるでは、できまれるでは、できまれるでは、できまれるでは、 では、できまれるでは、できまれる。 では、できまれるでは、できまれる。 では、できまれるでは、できまれる。 では、できまれるでは、できまれる。 では、できまれるでは、できまれる。 では、できまれるでは、できまれる。 では、できまれるでは、できまれる。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	に実施する E E E E E E E E E E E E E	備 考 る 各回の 第 の 構 な る は む		連絡を入れること。授業時数の4分の3以上

発表 機械学習・強化学習の振り替えを行う

12回

まとめ